

# ウェルビーイング研究センター

## 背景

現代文明社会の危機：急激な社会変化が、ホモサピエンスとしての人間の心性に不適合な環境（家族・地域コミュニティの弱体化）を生み出している

「孤育て」

虐待

ひきこもり

うつ

自殺

孤独死

認知症

～これらは、仲間と協力して生きるべき心性の阻害要因/阻害された結果

## 目標

身の回りの社会的ネットワークを豊かにし孤立化を防ぐ活動を通し、個人のウェルビーイング（心の豊かさ・健やかさ・柔軟さ）を向上させる

- ・最初の重点ターゲットは、未成年者と高齢者
- ・徐々に生産年齢人口も巻き込んでいく

## 方向性

- ・他者との関係作りを通して主観的幸福感を高める
- ・ストレスを軽減する活動の同定

## 妥当性の検証

- ・活動前後の変化を、脳内物質・質問紙・行動指標・脳画像データなどで検証

Ecological Systems Theory  
(Bronfenbrenner & Morris, 1998)

個人の心は重層的な社会に育まれる

